

定型プロトコルによる医学系研究募集の概要

詳細は、必ず別途掲載している募集案内、共同研究契約書等をご確認ください。

(1)募集の主旨

本募集では、JAXA が設定する定型プロトコルの範囲内で、優れた知を世界に先駆けて生み出し、将来的な科学技術イノベーション創出の源泉となる成果を創出するため、微小重力などの「きぼう」日本実験棟の特徴を最大限に活用する独創的かつ先導的で国際的に高い水準の学術研究提案を募集します。

(2)募集対象

JAXA が設定する定型プロトコルの範囲で実施可能な研究提案を募集します。
定型プロトコルから逸脱する要求、提案の場合、募集対象外となります。

(3)採択数

若干数(ゼロの場合もあります)

(4)募集期間 **(注)募集期間を1週間延長しました。**

2023年4月11日～**7月6日** ~~6月29日~~(正午)

なお、応募受付システムの公開は**6月7日** ~~5月31日~~予定

(5)選定期期

2023年11月頃

(6)軌道上実験実施目標

2026年頃(実験内容により前後)

(7)研究支援資金規模

最大1000万円/提案(研究期間(採択から成果評価まで))

＜定型プロトコルによる医学系研究募集 募集概要＞ (1/2)

| | | |
|-----------------------------|--|--|
| 目的 | 優れた知を世界に先駆けて生み出し、将来的な科学技術イノベーション創出の源泉となる成果を創出するため、微小重力などの「きぼう」日本実験棟の特徴を最大限に活用する独創的かつ先導的で国際的に高い水準の学術研究提案を募集します。なお、JAXA標準プロトコルで実施可能な提案のみを対象とする。 | |
| 資金支援 (採択～成果評価) | 研究支援経費 ✓ 最大1000万円/テーマ (配分については研究計画を踏まえて決定。目安として、FS期間300万円、移行後700万円程度) ✓ 相手方役割分担(※下部)の作業実施に要する経費を支援するものですが、「宇宙実験特有の作業にかかる消耗品、一時的な外注費(解析、試験)、旅費のみ」が対象 | |
| 選考プロセス | 予備審査、ピアレビュー、搭載性技術審査、委員書面審査、プログラム評価、委員会審査 | |
| 成果報告 | 最終データ・最終試料提供から1年後に解析進捗報告、2年後に成果報告をJAXAへ提出。PIより委員会へ報告・評価。 | |
| 主な成果の帰属 | 回収試料・実験データはJAXA帰属(なお、研究者提供試料の場合は試料は共有)。解析データは共有。 | |
| 成果の公開 | 原則公開。ただし、科学論文での成果発表のために一定期間は配慮。研究目的等公開の範囲については、協議可能とする。 | |
| 契約形態 | 共同研究契約 (約款形式) | |
| 役割分担 (FS期間) | JAXA | <ul style="list-style-type: none"> 実験要求に基づく宇宙実験の技術検討及び実施計画の具体化 |
| | 相手方 (※) | <ul style="list-style-type: none"> 実験要求の検討、実施計画の具体化支援 実現性検討(FS)進捗報告 |
| 役割分担 (実験準備 移行審査 後) | JAXA | <ul style="list-style-type: none"> 実施計画の維持 実験要求や供試体のISS等に対する適合性や安全性の評価及び確認 宇宙実験準備(手順書等の作成、既存供試体等実験用器材の整備、宇宙飛行士訓練等) 宇宙実験の実施 実験運用結果のまとめ |
| | 相手方 (※) | <ul style="list-style-type: none"> 実験要求の維持 地上実験の実施(地上実験に必要な機器の準備/調達含む) 実験試料解析、実験成果まとめ、発表 宇宙実験終了後の審査の受審 |

<定型プロトコルによる医学系研究募集 募集概要> (2/2)

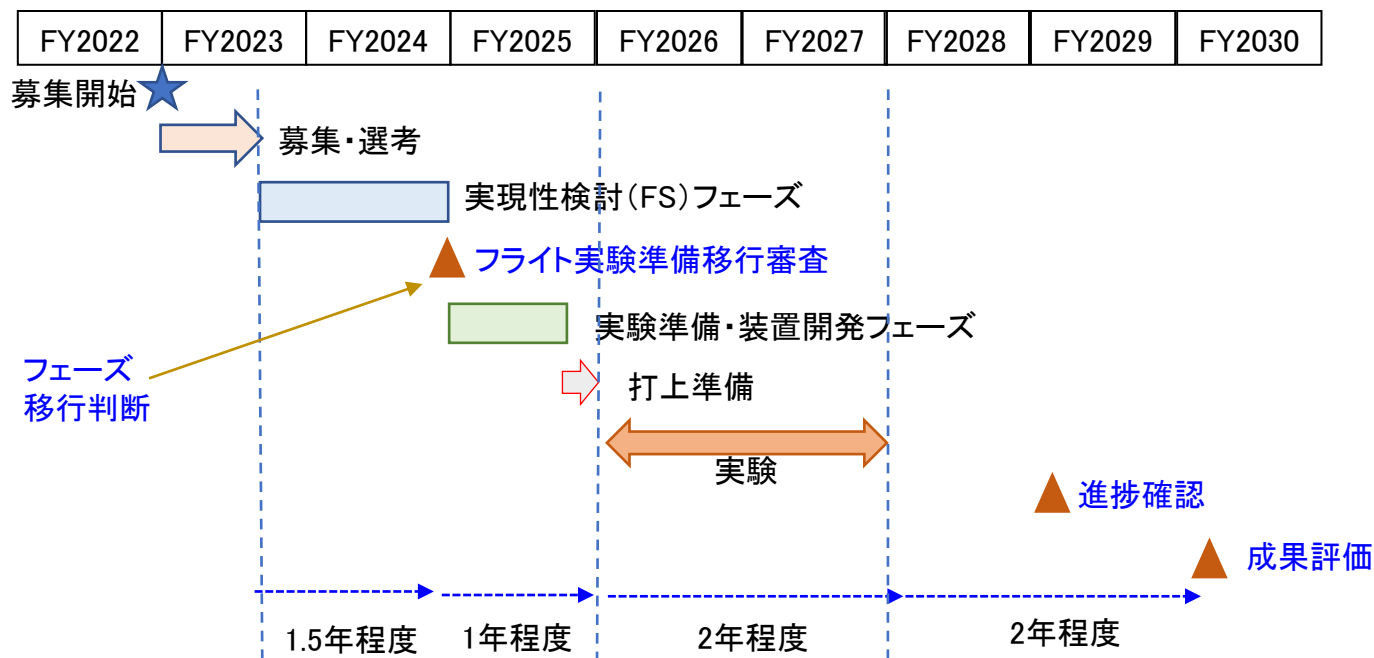
応募要件

日本国内の大学、公的研究機関や民間企業などに所属し、日本国内で研究活動に従事している日本国籍を有する者かつ原著論文発表時に責任著者相当となる者に限ります。国外在住の研究者及び外国籍の研究者は応募できません。

また、以下に該当する者は、日本国籍を有する日本居住者でも応募できません。

- ✓ 「みなし輸出」管理上の特定類型に該当する者
- ✓ 単に指導助言を行うなど実質的な責任を負わない研究者
- ✓ 別の業務に専念することが義務づけられている研究者
- ✓ 博士号取得後研究員
- ✓ 日本学術振興会特別研究員
- ✓ 大学院の学生、学部学生および研究生等

<定型プロトコルによる医学系研究募集テーマの実施スケジュール(予定)>



<定型プロトコルによる医学系研究募集の標準プロトコル>

以下の条件(標準プロトコル)下で可能なテーマ募集を行う。

➤ 研究対象者数:

6人程度まで

➤ 採取可能試料:

- 打上前 血液、尿、毛髪
- 軌道上 血液、尿
- 帰還後 血液、尿 毛髪

➤ 軌道上使用器材・装置:

軌道上で使用しているもののみ。

- 採血管:NASA標準品(採血管:NASA標準品(採血量:血清分離用7.5ml、ヘパリン加血漿分離用4.5ml、EDTA加血漿分離用5ml))
- 遠心分離機
- 採尿キット:NASA標準品(採尿管にて1回あたり7mlを提供可)
- 保存用冷凍庫(MELFI):-95°C

➤ 軌道上及びBDCでの作業(内容、時期など):

- ✓ 採血、採尿に関しては、打上前1ヶ月程度、打上 1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月後、帰還後2週間後等のNASAが通常採血、採尿するタイミングのみとする。

(※軌道上/地上での試料取得タイミング付近でNASAが取得する宇宙飛行士の健康管理データを、提供可能。

<https://nlsp.nasa.gov/explore/lstdahome> 等を参照ください)

- ✓ 打上前、帰還後の試料採取としては研究者が米国等に出張する必要のないこと。

➤ 打上・回収条件:

既存のもののみ使用。

➤ その他:

- ✓ 選定から1~2年で倫理委員会用研究計画書を作成できること。(2026年には軌道上データ取得を開始できること)
- ✓ 他のテーマとのサンプルシェアの可能性あり(詳細はFSの中で調整する)。